

授業科目名	漢字・漢語と文化	大学名	作新学院大学
科目区分	VU連携講座	開講時期	後期(9月18~1月19日)
学部・学科等	人間文化・心理コミュニケーション	曜日	未定
必修・選択区分	選択	時限(時間)	未定
標準対象年次	全学年	授業形態	講義
単位数	2単位	授業会場	作新学院大学
担当教員名	玉城 要		
電話番号(代表者名)	028-667-7111	e-mail アドレス	
オフィスアワー	授業終了時に面談の予約を取ってから、質問や相談に応じる。		
授業の概要	<p><授業の目標及びねらい> そもそも日本語と無関係に発生した漢字や漢語を、私たちは日本語の中でどのように扱っているのか。それが日本の「文化」とどのように関わっているのかという観点から考察するのがこの授業の目的です。多くの学生の皆さんが高校までに学んできたような「漢文」の読み方を説明したり、「漢文」で書かれた詩文を紹介したりする授業ではありません(もちろん、話の「ネタ」として触れる場合はあります)。ときどき現代中国語にも触れます。</p> <p><前提とする知識・経験> このシラバスに書かれている事柄を読んで理解できるだけの日本語力があれば十分です。</p> <p><授業の具体的な進め方> 授業の進め方についての基本型は以下の通り。 ア:授業者(玉城)は、時間割上の授業時間中にノートパソコンを携帯して教室に常駐し、インターネットへの接続を維持する。 イ:学生は、インターネットに接続し、WebClass上の資料に基づき学習を進め、指定された期限までに「課題」を提出する。 ウ:ア、イの活動を以って、一回の授業における学習は「完了」とする。</p> <p><授業計画> 第1週 漢字・漢語に対するイメージ……漢字・漢語は「日本の文化」と言えるか 第2週 「文化」は漢語か? 「文化」の反対語は何か? 第3週 漢字を使いこなしてきた日本人その1 音読みの話 第4週 漢字を使いこなしてきた日本人その2 訓読みの話 第5週 漢字を使いこなしてきた日本人その3 和製漢語の話 第6週 「漢和辞典」は何のための辞典か? 第7週 日本人にとっての「漢字辞典」(補足:最古の字書『説文解字』) 第8週 当て字の話 その1 「嘆鶴鳴」と「明日バイト行ける鴨」 第9週 当て字の話 その2 「まじめ」「まじ」「ガチ」な話 第10週 当て字の話 その3 「とうふ」は好きですか 第11週 当て字・訓読み・記号・外来語の読み方をめぐって その1 第12週 当て字・訓読み・記号・外来語の読み方をめぐって その2 数字の読み方 第13週 当て字・訓読み・記号・外来語の読み方をめぐって その3 長い読み方 第14週 日本語における漢字使用の多様性と可能性 その1 たまごは玉子?卵 第15週 日本語における漢字使用の多様性と可能性 その2 新しい漢字は生まれるか</p> <p><教科書・参考書・教材と入手方法>指定なし</p> <p><成績評価法> 秀:毎回の授業時に示される内容確認課題をすべて期限内に提出し、その解答が正確でほぼ不備がなく、かつ自身の見解や、調べたことがらなどが追記されている場合。 優:毎回の授業時に示される内容確認課題が期限内に8割以上提出されていて、その解答が正確でほぼ不備がない場合。 良:毎回の授業時に示される内容確認課題が期限内に7割以上8割未満で提出されていて、その解答が正確でほぼ不備がない場合。 可:毎回の授業時に示される内容確認課題が期限内に6割以上7割未満提出されていて、その解答が正確でほぼ不備がない場合。 不可:毎回の授業時に示される内容確認課題が期限内に4割以上6割未満の提出しかなくされていない場合。 無資格:上記、いずれにも該当しない場合。</p> <p><教員からのメッセージ> 好き、嫌い、に関係なく、身の回りにあふれる漢字・漢語に興味を持つと、ちょっと人生が豊かになるかもしれません。</p>		

